

平成27年10月2日

「第1回JET地域国際化塾」の開催

総務省は石川県との共催により、学校での語学指導や地域における国際交流活動等に従事する外国青年と地域おこしに取り組む地域住民との出会いと交流の場である「第1回地域国際化塾」を開催します。

1 背景・目的

総務省は、地方公共団体等がJETプログラム（外国青年招致事業）において招致した外国青年と地域おこしに取り組む地域住民との交流の場をつくり、外国青年の地域活動への一層の参加を促進することを目的として、「第1回地域国際化塾」を石川県で開催します。

外国青年は地域おこし活動をテーマとした基調講演や分科会に参加した後、事例視察により石川県内の地域おこし活動に実際に触れ、日本の地域社会への理解を深めます。一方、石川県内の地域おこし関係者は、外国青年を通して国際感覚を育むとともに、外国人の視点を今後の地域の魅力発信につなげます。

2 日時及び場所

日 時 平成27年10月7日（水）13：00開会
平成27年10月9日（金）12：30閉会

場 所 【1日目】金沢都ホテル
【2日目】石川県内の現地視察（加賀地域及び能登地域）
【3日目】金沢市アートホール

3 参加者

JETプログラムに参加している外国青年
JETプログラム卒業生（国内外より招へい）
自治体・地域おこし関係者 約80名

4 主催及び共催

主 催：総務省 共 催：石川県
（総合コーディネーター：石川地域づくり協会運営委員長 谷口 健一）

5 プログラム

【1日目】

(1) 開会式

(2) 基調講演

講演者：北陸先端大学科学技術大学院大学知識科学研究科准教授 白肌 邦夫

テーマ：サービス発想の地域おこし

(3) 分科会

テーマ①：新しい地域コミュニティ支援

テーマ②：食・観光振興による地域おこし活動への参加

【2日目】

現地視察（分科会のテーマに合わせた加賀方面1コース、能登方面2コース）

・コミュニティ支援現地視察（加賀コース）

兼六園・金沢城公園視察

NPO法人活動内容視察

九谷焼絵付け体験 など

・「観光」による地域おこし（能登コース①）

兼六園・金沢城公園視察

輪島塗工房視察・輪島塗体験

農家民宿視察 など

・「食」による地域おこし（能登コース②）

兼六園・金沢城公園視察

塩田村、酒蔵、農園視察

農家民宿視察 など

【3日目】

(1) 参加した外国青年による成果発表

(2) 閉会式

(添付資料) 第1回JET地域国際化塾の開催について

(連絡先)

総務省自治行政局国際室 細野補佐、西原、山本

電話：03-5253-5527 (直通)

FAX：03-5253-5530

第1回JET地域国際化塾の開催

(1)JETプログラムの課題

- 近年は約4,000人／年が日本各地の自治体で活躍:うち、ALT(外国語指導助手)が9割、CIR(国際交流員)が1割弱
- 実際の活動は、学校内の英語指導や自治体の国際化事務に限定されている例が多い
 - JET青年と地域社会との関わりをバックアップする必要

(2)事業の目的

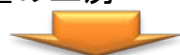
- JET青年と自治体・地域おこし関係者との出会いと交流の場である「JET地域国際化塾」を開催
 - ➡ JET青年:赴任地の国際化に一層貢献 + より強い「日本のサポーター」へ
 - 自治体・地域おこし関係者:JET青年を通じて、グローバルな視点を持った地域活性化を学ぶ

(3)事業の概要

- H27年度:平成27年10月7日(水)～10月9日(金)石川県で開催
- 参加予定者:約80名
 - ・JETプログラム参加者(開催県中心、他ブロックの代表・JET-OBも参加)
 - ・自治体・地域おこし関係者 等

【実施内容】

- JET青年と地域おこし関係者とのワークショップ
(ベストプラクティスや日本の地域おこしの手法の共有)
- 具体的な事例の視察・体験
地域コミュニティを支援する活動に取り組むNPO法人
伝統を引継ぎつつ、時代に合わせた売りこみを行う酒蔵
伝統工芸である輪島塗の工房



参加したJET青年は、赴任地の地域国際化活動に積極的に参画
(全国のJET参加者ネットワークでも成果を共有)

